

CUPS ドライバー ソフトウェアマニュアル *for macOS*

対応機種

- サーマルプリンター
- モバイルプリンター
- ドットプリンター

注意事項：

- macOS、Mac、OS X、Mac mini、iMac は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- 本マニュアルの内容は、予告無く変更する場合があります。
- スター精密株式会社は、正確な情報を提供するためにあらゆる措置を取っていますが、誤りや不作為について責任を負うものではありません。
- スター精密株式会社は、このマニュアルに記載されている情報の使用に起因するいかなる損害に対しても責任を負うものではありません。
- 本マニュアルの一部、あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、固くお断りします。

目 次

1. インストール / アンインストール.....	7
1.1 Star Printer Drivers のインストール.....	7
1.2 プリンタの登録.....	11
1.3 Star Printer Drivers のアンインストール.....	19
2. プリンタ機能の設定.....	22
2.1 機能一覧.....	23
2.2 スター精密クラウドサービス	37
3. 用紙サイズの設定.....	40
3.1 用紙サイズの設定.....	40
3.2 設定可能用紙サイズ.....	41
4. イーサネット環境を使用する際のガイドライン.....	43
4.1 仮 IP アドレス設定	43
4.2 IP アドレス設定 << StarPrinter TELNET Utility >>.....	45
5. lpr コマンドで使用する際のガイドライン	48
5.1 機能対応一覧.....	49
6. 動作確認環境.....	56
7. 改訂履歴.....	57

はじめに

このマニュアルは Star プリンターにおける CUPS ドライバのインストール方法、機能概要を説明しています。

イーサネットインターフェイスにてこのドライバをご使用いただくには、あらかじめプリンタへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンタへの IP アドレスの設定を行ってください。プリンタの IP アドレス設定方法につきましては、「4. イーサネット環境を使用する際のガイドライン」をご参照ください。

TSP100LAN 制限事項：

印刷時のドキュメント名が 80 文字を超えていると印刷できません。

例) 80 文字を超えるファイル名がついたドキュメントの印刷

このソフトウェアは ESC/POS エミュレーションには対応しておりません。

動作環境

◆ 対応 OS

- macOS 10.15
- macOS 10.14
- macOS 10.13
- macOS 10.12
- Mac OS X 10.11

◆ 対象機種、インターフェイスとファームウェアバージョン

Bluetooth モデル制限事項

- Bluetooth インターフェイスは、SPP（Serial Port Profile）にて通信を行います。
- Bluetooth プリンターで印刷可能なページ長は 1500mm 以内となります。

サーマルプリンター

対象機種	インターフェイス	対応ファームウェアバージョン
TSP100U,TSP100IU,TSP100GT, TSP100IIIU シリーズ	USB	Ver 1.0 以降
TSP100LAN, TSP100IIILAN シリーズ	LAN	Ver 1.0 以降
TSP100IIIW シリーズ	WLAN	Ver 1.0 以降
TSP100IIIBI シリーズ	Bluetooth	Ver 1.0 以降
TSP650II シリーズ	USB / LAN / Bluetooth	Ver 1.0 以降
TSP700II シリーズ	USB / LAN / Bluetooth	Ver 5.0 以降
TSP800II シリーズ	USB / LAN / Bluetooth	Ver 2.0 以降
FVP10 シリーズ	USB / LAN / Bluetooth	Ver 2.0 以降
mPOP シリーズ	USB / Bluetooth	Ver 1.0.1 以降
mC-Print3 シリーズ	USB / LAN / Bluetooth	Ver 1.0 以降 (MCP31LB, MCP31L) Ver 2.0 以降 (MCP30) Ver 3.0 以降 (MCP31CB, MCP31C)
mC-Print2 シリーズ	USB / LAN / Bluetooth	Ver 1.0 以降

モバイルプリンター

対象機種	インターフェイス	対応ファームウェアバージョン
SM-L200 シリーズ	USB ^{*1} / Bluetooth	Ver 1.0 以降
SM-L300 シリーズ	USB / Bluetooth	Ver 1.0 以降
SM-S210i シリーズ	Bluetooth	Ver 3.0 以降
SM-T300i シリーズ	Bluetooth	Ver 3.0 以降
SM-T400i シリーズ	Bluetooth	Ver 3.0 以降

^{*1} プリンタ F/W バージョン 2.0 以降から USB 通信がサポートされます。

ドットプリンター

対象機種	インターフェイス	対応ファームウェアバージョン
SP700 シリーズ	USB / LAN	Ver 4.0 以降

◆ SM-S210i, SM-T300i, SM-T400i をお使いの場合

このソフトウェアは StarPRNT エミュレーション専用です。

プリンター本体のエミュレーションを “StarPRNT” に設定してお使いください。

☆ ESC/POS ⇄ StarPRNT エミュレーションモード 切り替え方法

1. プリンターの電源を入れ、プリンターカバーを開きます。
2. 電源ボタンと FEED ボタンを同時に長押しした後、ERROR ランプが 5 回点滅したことを確認しすぐに電源ボタンと FEED ボタンから指を放します。エミュレーションの切り替えが自動的行われます。
3. 用紙をセット後、プリンターカバーを閉めると設定されたエミュレーションモードが印字されます。
ESC/POS モードの場合：EMU = ESC/POS
StarPRNT モードの場合：EMU = StarPRNT
エミュレーションモードが正しく切り替わっていない場合、再度 1 ～ 3 の手順を行ってください。
その際、2 の手順においては、点滅中に指を放さなず、点滅が 5 回完了したことを確認してから指を放すように注意してください。
4. ESC/POS ⇄ StarPRNT を切り替え後は、プリンタの電源を一度オフにしてから再投入してください。
選択したエミュレーションは、プリンタの電源を再投入することで有効になります。

◆ SM-S210i, SM-T300i, SM-T400i をお使いの場合

プリンター本体の通信モードを以下に設定してお使いください。

F/W バージョン 3.X	Bluetooth
F/W バージョン 4.0 以降	Bluetooth(Mac)

☆ 通信モード切り替え方法 < Bluetooth(Mac) ⇄ Bluetooth(Auto)>, <Bluetooth ⇄ Bluetooth(iAP)>

プリンターの電源を入れ、POWER ボタンと FEED ボタンを同時に長押しすると、ERROR ランプが 5 回点滅します。ERROR ランプが 5 回点滅した後もブザーが 2 回鳴るまでの間、POWER ボタンと FEED ボタンを押し続けると、Bluetooth の通信モードが切り替わります。

1. インストール / アンインストール

注意

- ドライバのインストール / アンインストールは、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで行ってください。
- インストール終了時にコンピューターを再起動する必要があります。
インストールを開始する前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1.1 Star Printer Drivers のインストール

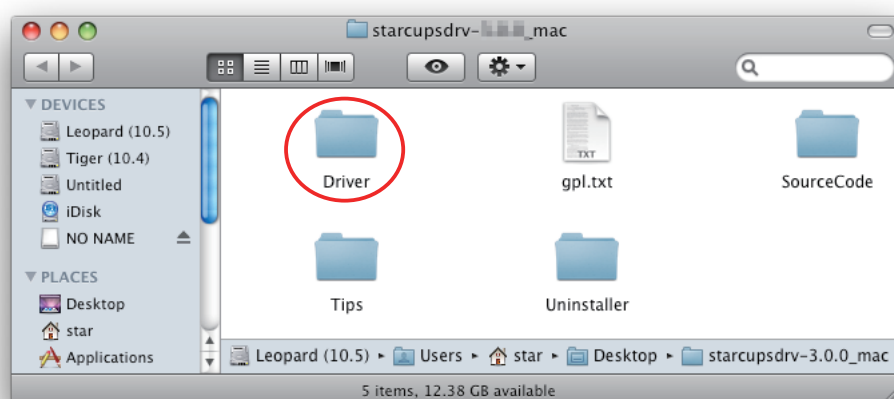
以下の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

注記：USB インターフェイスでご使用の場合は、「1.1 Star Printer Drivers のインストール」を行ってからプリンターの電源を投入してください。

- ① "starcupsdrv-x.xx.x_mac_yyyymmdd.zip" をデスクトップに配置し、ダブルクリックして解凍します。

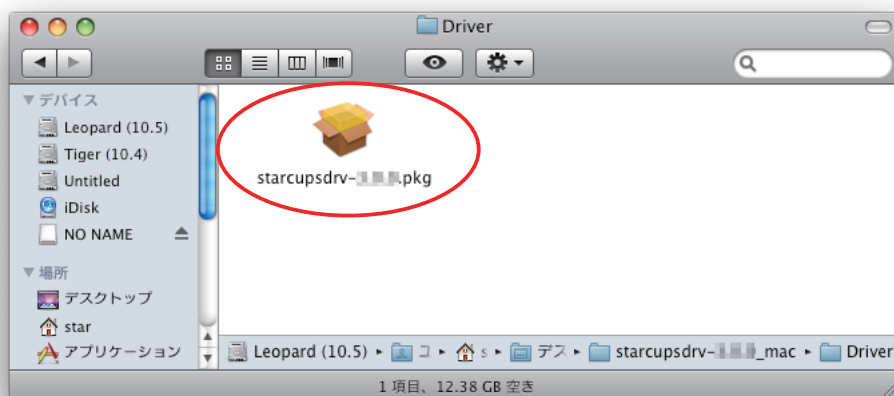


- ② 解凍した <starcupsdrv-x.xx.x_mac> をダブルクリックしますと、以下の画面が表示されます。
「Driver」フォルダを開きます。



③ 以下の画面が表示されます。

[starcupsdrv-x.xx.x.pkg] をダブルクリックしてインストールを開始します。



④ 以下の画面が表示されます。

[続ける] をクリックします。



- ⑤ インストール先のハードディスクを選択し、[続ける]をクリックします。



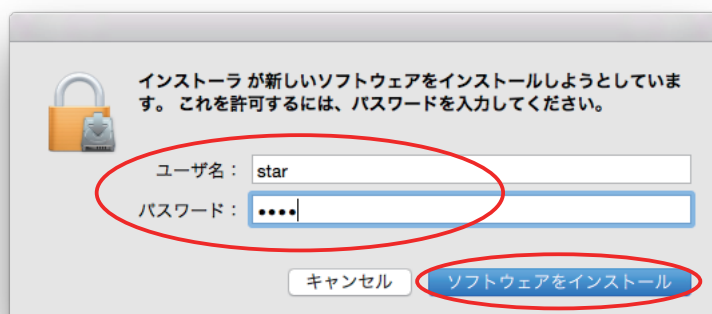
- ⑥ [インストール]をクリックします。



- ⑦ インストール終了時にコンピューターを再起動する確認があります。
問題が無い場合は [インストールを続ける] をクリックします。



- ⑧ 以下の認証画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール]をクリックします。

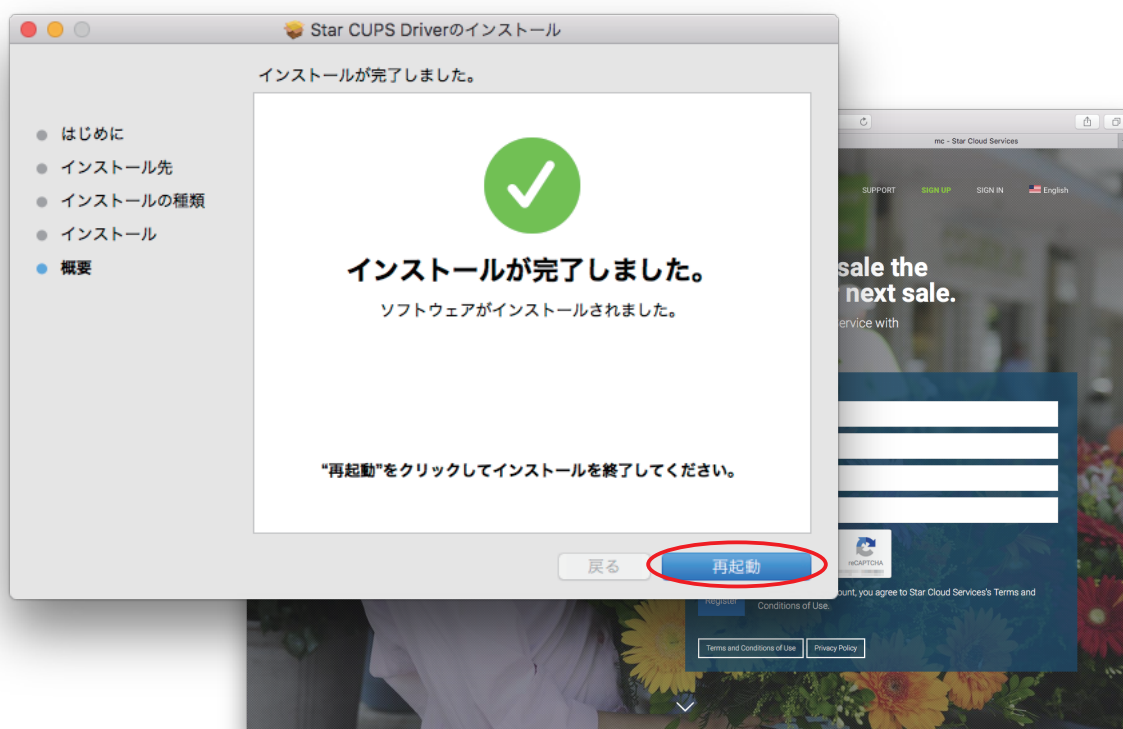


注記： 管理者権限を持たないユーザの場合、
管理者の名前とパスワードの入力を求められます。

- ⑨ インストールが正常に行われると、インストール完了画面が表示されます。

また、スター精密クラウドサービスの Web ページが開きます。こちらからスター精密クラウドサービスアカウントを登録すると、スター精密クラウドサービスをご利用いただけるようになります。詳しくは Web ページをご参照ください。

[再起動]をクリックして、コンピュータを再起動してください。



memo スター精密クラウドサービスは、ドットプリンターに対応していません。

1.2 プリンタの登録

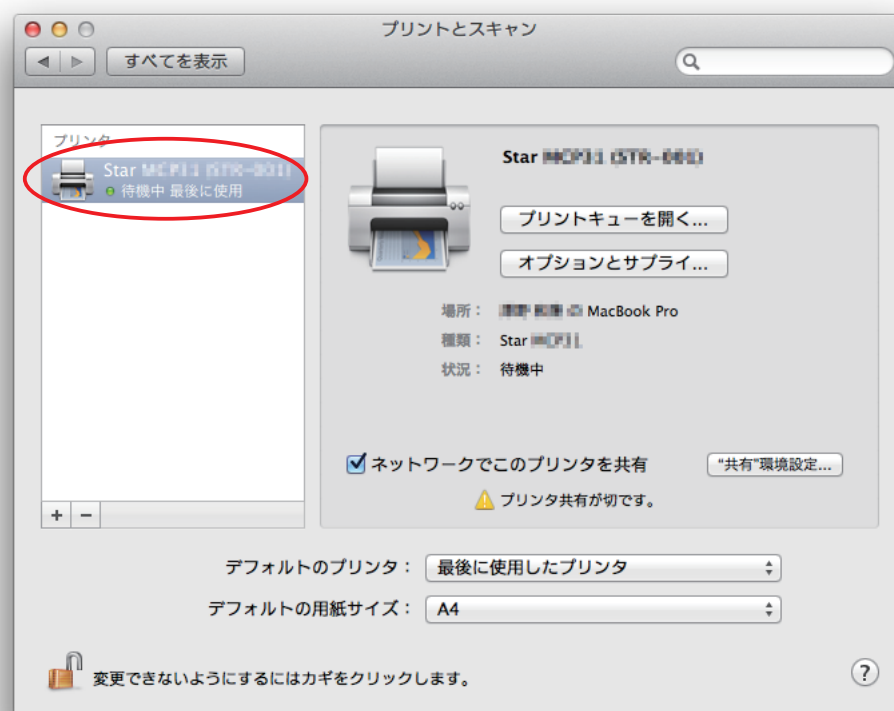
プリンタの登録はご使用のインターフェイスによって手順が異なりますので、ご使用の環境に合った項をご参照ください。

1.2.1 USB インターフェイスをご使用の場合

- ① メニューバーの Apple マークより [システム環境設定...] を開き、[プリントとスキャン] のアイコンをダブルクリックします。



- ② プリンタを PC に接続して、プリンタの電源を投入します。
"プラグアンドプレイ" によって、自動的にプリンタが登録されます。
- ③ プリンター一覧に対象となるプリンタが追加されていれば、プリンタの追加は正しく完了しています。



1.2.2 イーサネットインターフェイスをご使用の場合

注記：IFBD-HI01X をご使用の場合、WebUI にて LPR を 'Enable' に設定してご使用ください。

詳しくは "Set-up Manual for IFBD-HI01X" をご参照ください。

- ① メニューバーの Apple マークより、[システム環境設定 ...] を開き、[プリントとスキャン] のアイコンをクリックします。



- ② プリントとスキャンウィンドウが表示されます。
[+] をクリックします。

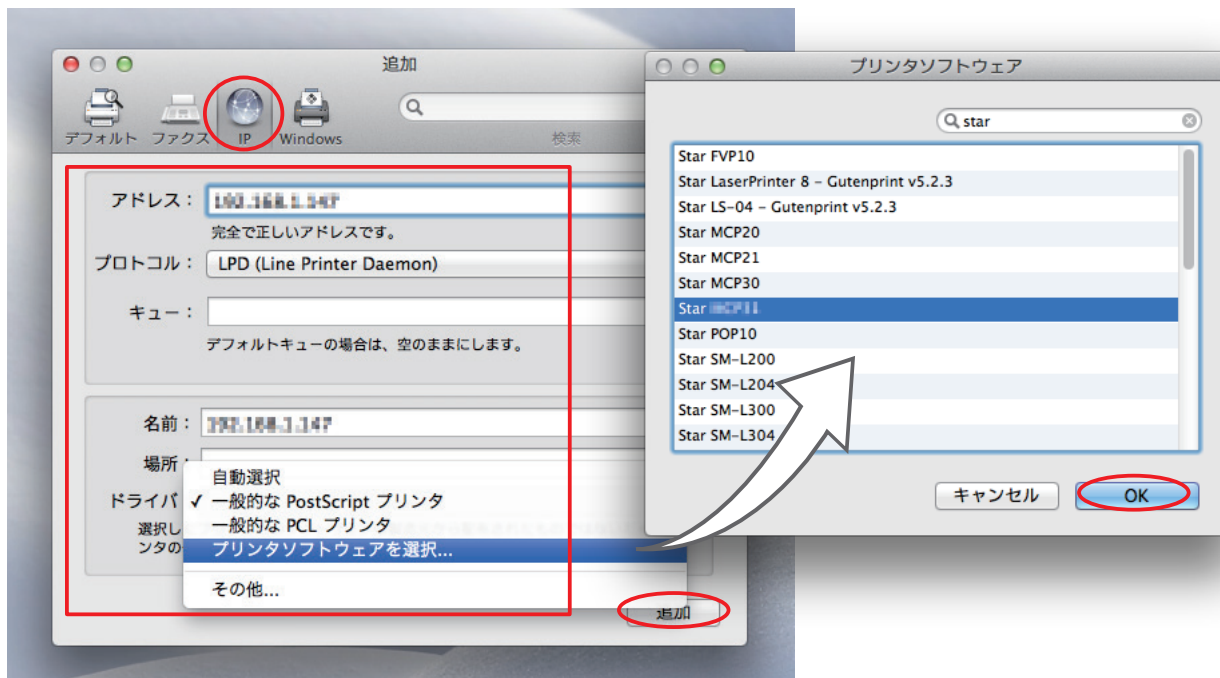


③ 「IP」から以下の設定を行い、[追加]をクリックします。

- プロトコル : 「LPD(Line Printer Daemon)」
 アドレス : 設定するプリンタの IP アドレス（自己印字にて確認）
 キュー : 任意の文字列（空のままでは使用できません）
 名前 : 任意の文字列（デフォルトで IP アドレスが自動的に入力されます。）
 ドライバ : 「使用するドライバを選択 ...」、または「プリンタソフトウェアを選択」
 使用するドライバを選択

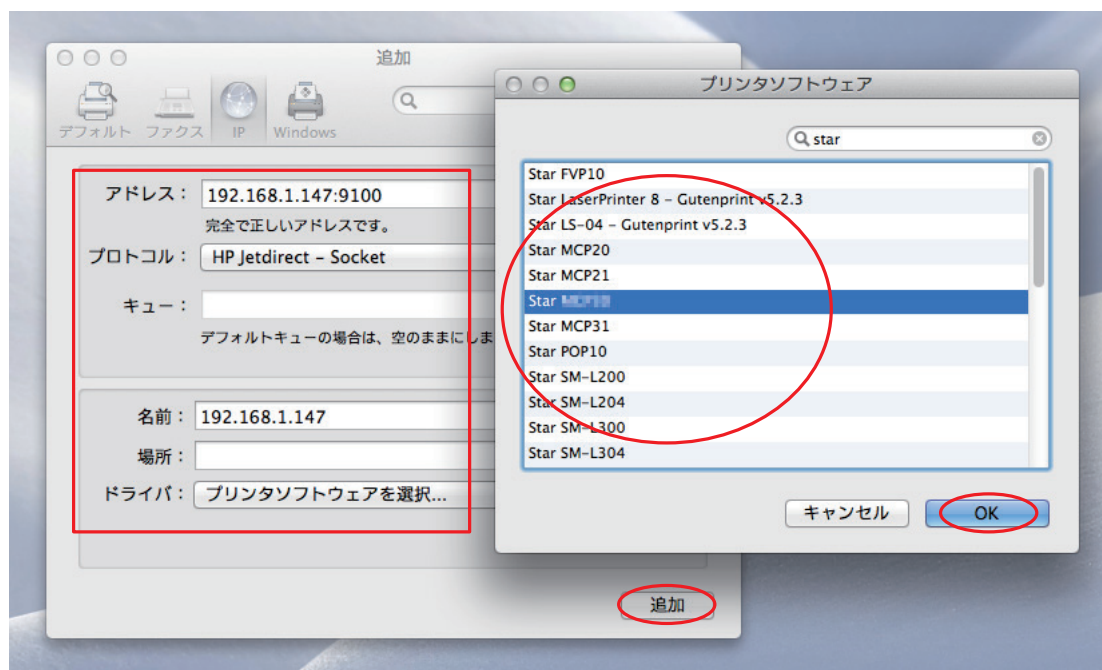
Point! 各モデルに対応するドライバは以下の通りです。

シリーズ名称	モデル名称	対応ドライバ名称
TSP100 シリーズ	TSP143LAN, TSP143IIIW, TSP143IIILAN	Star TSP100 Cutter (en)
TSP650II シリーズ	TSP654II	Star TSP650 Cutter (en)
TSP700II シリーズ	TSP743II	Star TSP700II (en)
TSP800II シリーズ	TSP847II	Star TSP800II (en)
FVP10 シリーズ	FVP10	Star FVP10 (en)
mC-Print3 シリーズ	MCP30	Star MCP30 (en)
	MCP31L, MCP31LB, MCP31C, MCP31CB	Star MCP31 (en)
mC-Print2 シリーズ	MCP20, MCP20B	Star MCP20 (en)
	MCP21LB	Star MCP21 (en)
SP700 シリーズ	SP747	Star SP700 Cutter (SP747) (en)
	SP717	Star SP700 Tear Bar (SP717) (en)

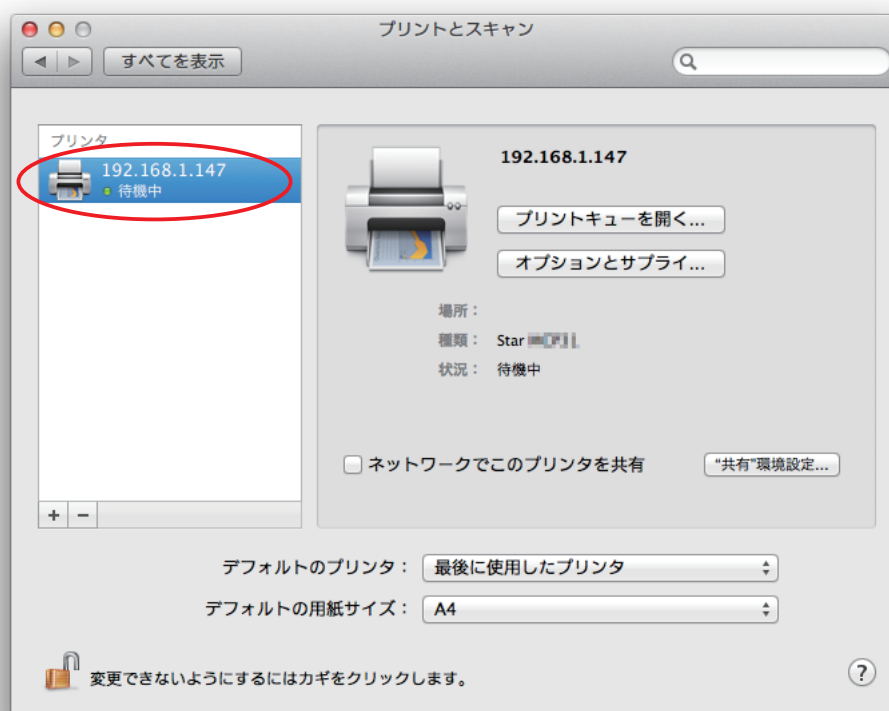


memo 9100 番ポートを使用する場合は、以下の内容で設定を行います。

プロトコル : 「HP JetDirect - Socket」
 アドレス : [設定するプリンタの IP アドレス] : 9100
 名前 : 任意の文字列 (デフォルトで IP アドレスが自動的に入力されます)
 ドライバ : 「使用するドライバを選択 ...」、または「プリンタソフトウェアを選択」
 使用するドライバを選択



④ プリンター一覧に指定した名前のプリンタが追加されていれば、プリンタの追加は完了しています。




1.2.3 Bluetooth インターフェイスをご使用の場合

① 以下の手順で Bluetooth プリンターとペアリングを行ってください。

1. プリンターの電源を ON してください。

2. TSP650II, TSP700II, TSP800II, FVP10 シリーズをお使いの場合

プリンターの Bluetooth カードの PAIR ボタンを 10 秒以上押し続け、プリンターをペアリングモードにしてください。

3. システム環境設定より [Bluetooth ] - [新しいデバイスの設定] をクリックしてください。プリンターの検索を開始します。

4. 検索画面よりペアリングを行うプリンターを選択し、[続ける] をクリックしてください。

モバイルプリンター以外をお使いの場合

ペアリングされます。ペアリングが成功しない場合は、再度ペアリングを行ってください。

5. モバイルプリンターをお使いの場合

[パスコードオプション] をクリックして、プリンターのパスコード (PIN コード) を入力して [OK] をクリックしてください。ペアリングされます。ペアリングが成功しない場合は、再度ペアリングを行ってください。

② Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスします。

Point!

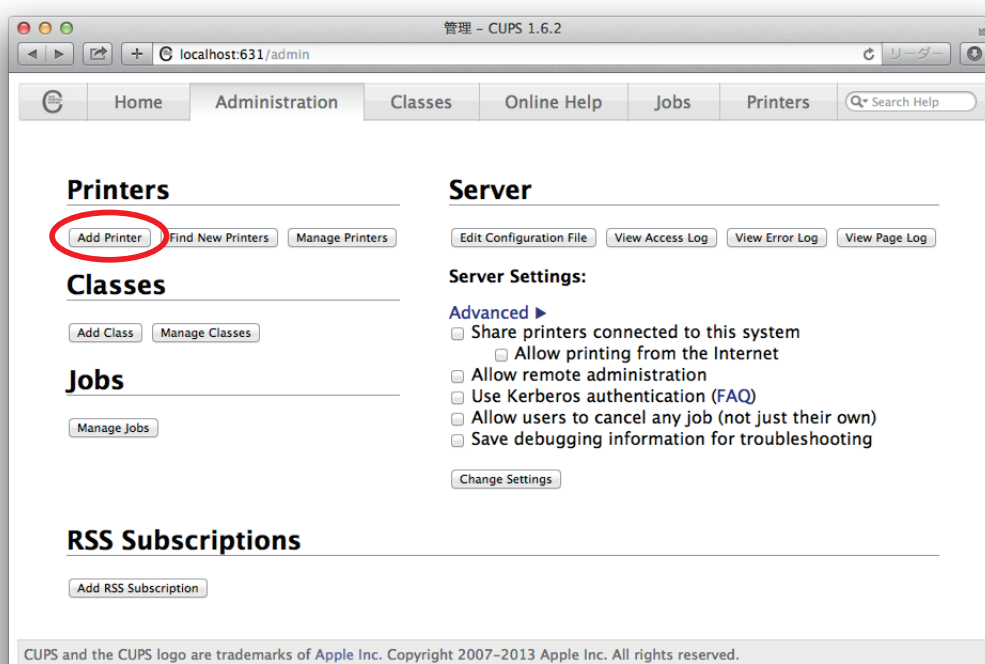
初めて CUPS 管理画面にアクセスする場合、Web インターフェイスが無効となっているため、CUPS 管理画面へのアクセスが行えません。

有効にするには、[ユーティリティ] - [ターミナル] より以下のコマンドを実行してください。

cupsctl WebInterface=yes

③ [Add Printer] をクリックします。

注記: 認証を求めるダイアログが表示された場合は、root のパスワードを入力し [はい] を押してください。



- ④ 「LPD/LPR ホストまたはプリンタ」を選択し、[Continue] をクリックします。



- ⑤ Connection にプリンターデバイスの URI (以下) を指定して、[Continue] をクリックします。

starbluetooth://<<Bluetooth Address>>

例) starbluetooth://00-12-f3-1c-2f-a4

* モバイルプリンターでは、従来の starmobilebluetooth も使用できます。

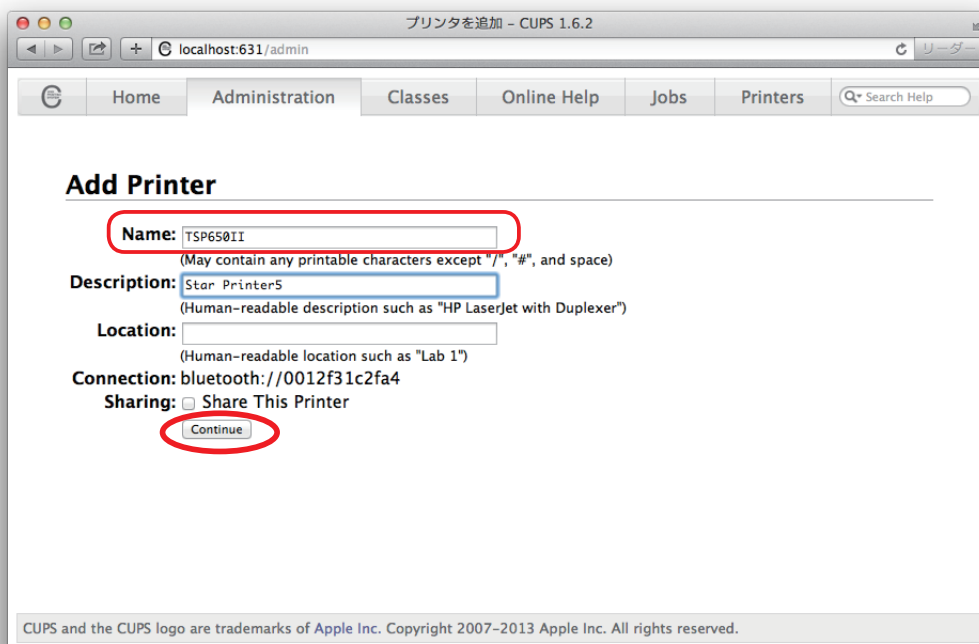


Point!

Bluetooth Address は、プリンターの自己印字（Feed ボタンを押しながら電源 ON）で印字される Bluetooth Information に記載されています。

- ⑥ Name(プリンター名)、Description(説明)、Location(場所)の項目を入力して、[Continue]をクリックします。

DescriptionとLocationの項目は未入力でも構いません。



- ⑦ Make(プリンターメーカーリスト)より"Star"を選択し、[Continue]をクリックします。



- ⑧ Model よりプリンターのモデルを選択して [Add Printer] をクリックします。



Point! 各モデルに対応するドライバは以下の通りです。

シリーズ名称	モデル名称	対応ドライバ名称
TSP100 シリーズ	TSP143IIIBI	Star TSP100 Cutter (en)
TSP650II シリーズ	TSP654II	Star TSP650 Cutter (en)
TSP700II シリーズ	TSP743II	Star TSP700II (en)
TSP800II シリーズ	TSP847II	Star TSP800II (en)
FVP10 シリーズ	FVP10	Star FVP10 (en)
mPOP シリーズ	POP10	Star POP10 (en)
mC-Print3 シリーズ	MCP31LB, MCP31CB	Star MCP31 (en)
mC-Print2 シリーズ	MCP20B	Star MCP20 (en)
	MCP21LB	Star MCP21 (en)
SM-L200 シリーズ	SM-L200	Star SM-L200 (en)
SM-L300 シリーズ	SM-L300	Star SM-L300 (en)
	SM-L304	Star SM-L304 (en)
SM-S210i シリーズ	SM-S210i	Star SM-S210i (en)
SM-T300i シリーズ	SM-T300i	Star SM-T300i (en)
SM-T400i シリーズ	SM-T400i	Star SM-T400i (en)

以上で Bluetooth プリンターの登録が完了しました。

1.3 Star Printer Drivers のアンインストール

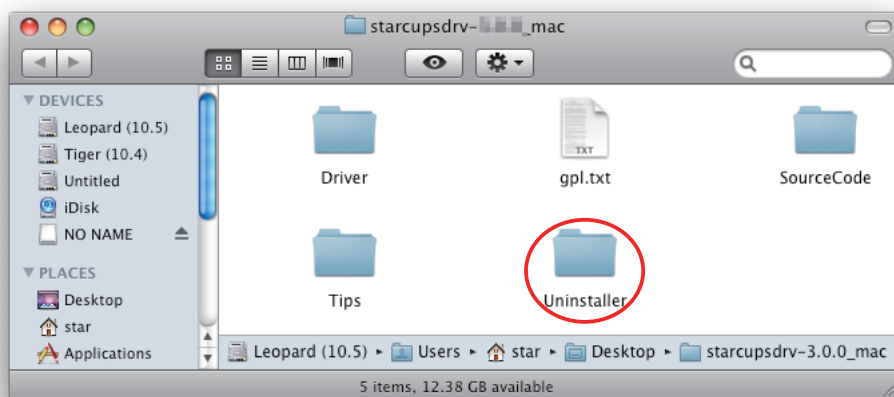
以下の手順に従って、ドライバのアンインストールを行ってください。

注記： Star Printer Driver のアンインストールを行うと、Mac 内にインストールされた Star プリンタ全機種ドライバの削除を行います。
また、同時にインストールされた Star Micronics Cloud アプリケーションの設定ファイルも削除されます。

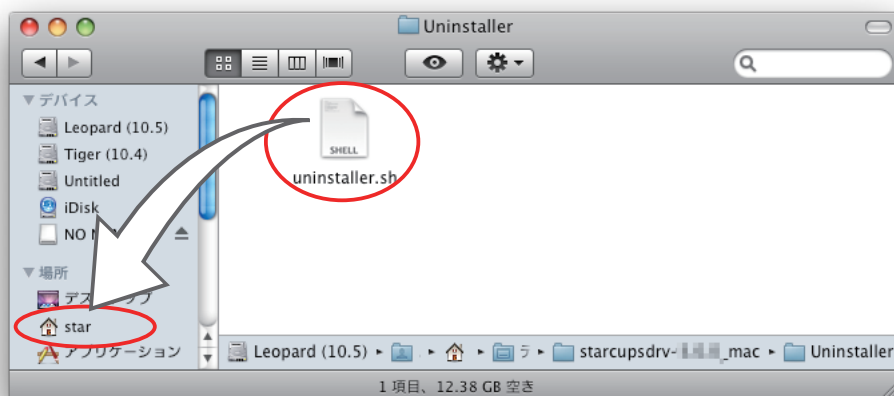
- ① プリンタの電源スイッチを OFF にして電源を切ります。
- ② "starcupsdrv-x.xx.x_mac_yyyymmdd.zip" をデスクトップに配置し、ダブルクリックして解凍します。



- ③ 解凍した <starcupsdrv-x.xx.x_mac> をダブルクリックしますと、以下の画面が表示されます。
「Uninstaller」フォルダを開きます。



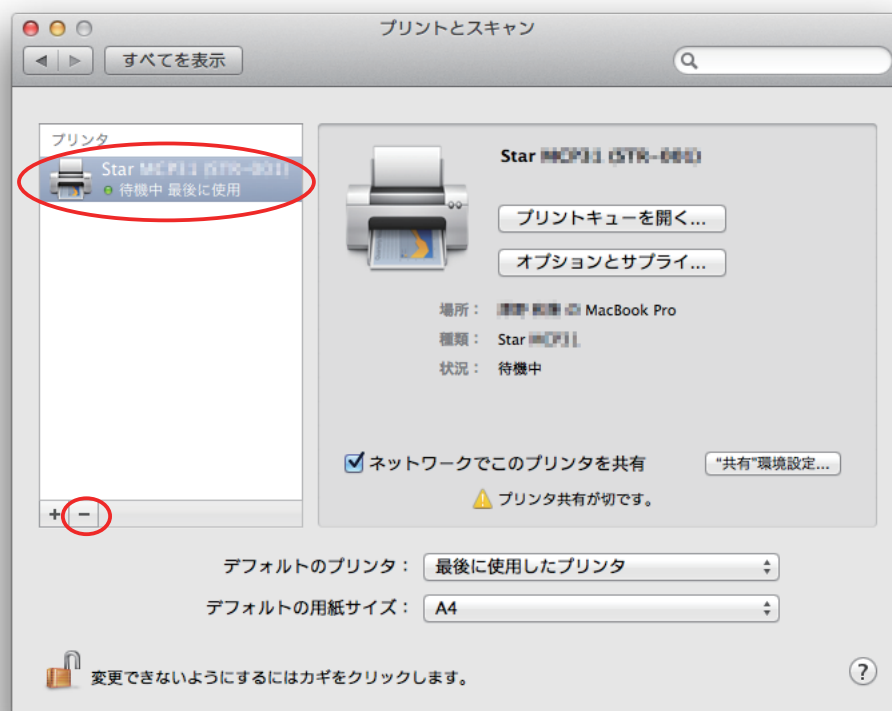
- ④ "uninstaller.sh" をホームディレクトリにコピーします。



- ⑤ [システム環境設定...] より、[プリントとスキャン]を開きます。



- ⑥ プリンター一覧より、全ての Star プリンタのキューを削除します。

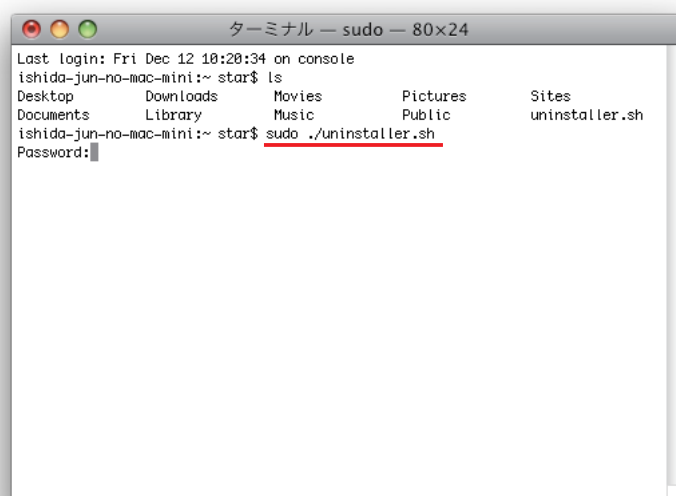


- ⑦ [アプリケーション]-[ユーティリティ]より「ターミナル」を開きます。



- ⑧ ターミナルで以下のコマンドを実行することにより、Star Printer Driver のアンインストールを実行します。起動時にはユーザパスワードの入力を求められます。

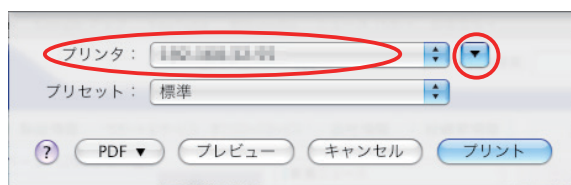
sudo ./uninstaller.sh



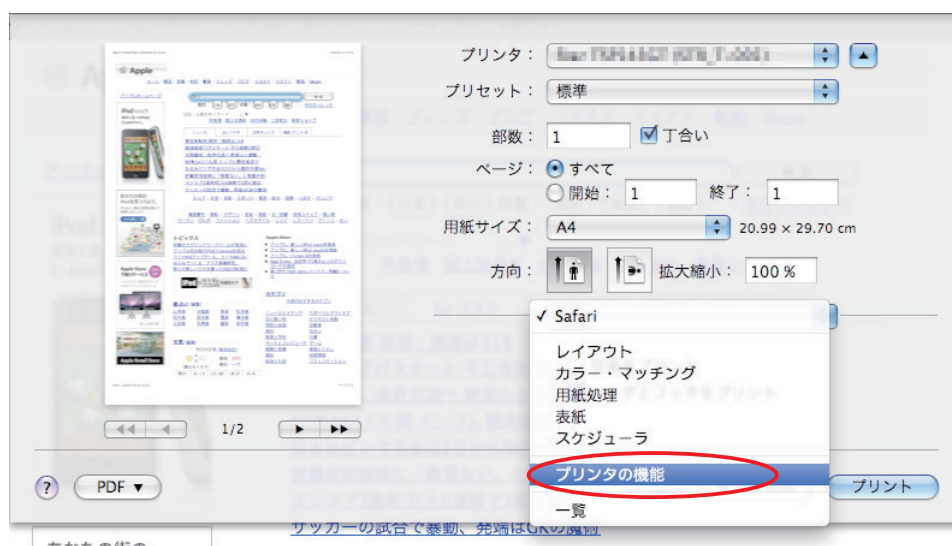
2. プリント機能の設定

プリンタ機能の設定は、macOS のメニューバーから各アプリケーションの [ファイル] - [プリント] で開いたダイアログボックスで行います。

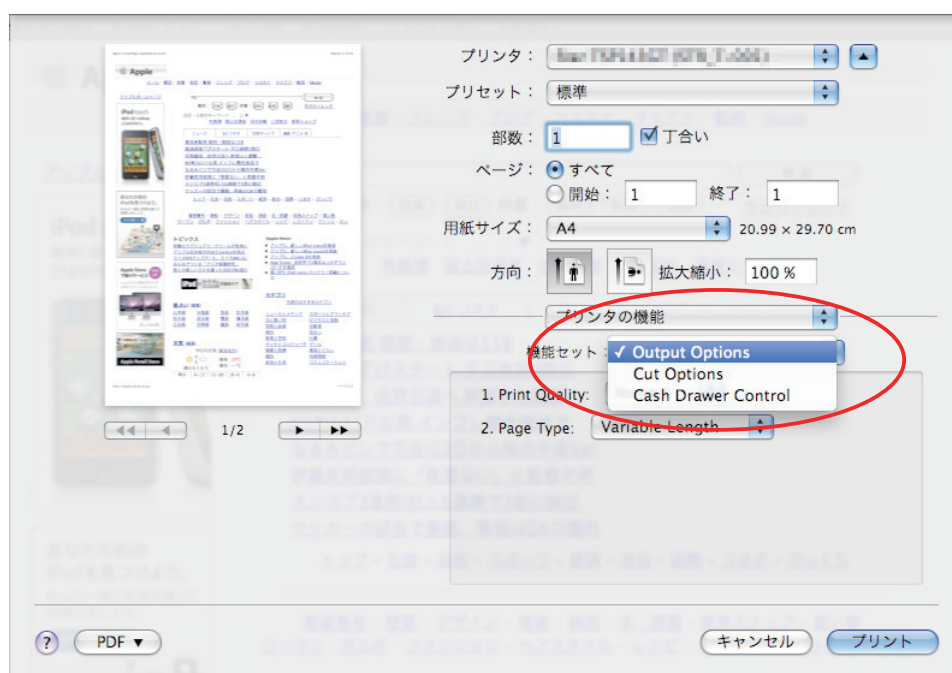
「プリンタ：」のプルダウンメニューから、設定を行うプリンタ名を選択し、[▼] をクリックして詳細を表示します。



設定のプルダウンメニューから “ プリンタの機能 ” を選択します。



「機能セット：」のプルダウンメニューから、設定を行う機能を選択します。



2.1 機能一覧

選択するプリンタによって表示される機能は異なり、表示される機能のみ設定することができます。
該当する機能説明をご参照ください。

2.1.1 サーマルプリンター

■ Output Options

• Print Speed：（印字速度）

印字速度を設定します。印字速度の設定によって印字品質も変わります。

設定値	初期値	詳 細
High	○	印字品質よりも印字速度を優先します。
Middle ※		印字品質も印字速度も中間的な設定です。
Low		最高の印字品質を得られますが、印字速度は遅くなります。

※ モデルによっては対応していません。

Point! TSP100・TSP650II・TSP700II・TSP800II・FVP10・mPOP・mC-Print3 シリーズのみ対応

• Print Density：（印字濃度の設定）

印字濃度を設定します。

設定値	初期値	詳 細
-3 ～ -1 ※		-（マイナス）の数値が大きいほど印字が薄くなります。
Standard	○	通常の濃度で印字します。
+1 ～ +3 または +4		+（プラス）の数値が大きいほど印字が濃くなります。

※ モデルによっては対応していません。

Point! TSP650II・FVP10・mPOP・mC-Print3・mC-Print2 シリーズのみ対応

• Page Type：（ページタイプの設定）

ページタイプを設定します。

設定値	初期値	詳 細
Variable Length	○	可変長制御：ページ終端までの余白データは出力しません。 最後のデータが印刷された後にレシートが終了します。
Fixed Length		固定長制御：ページ終端までの余白データを余白として出力します。 用紙サイズで指定した長さの印字後にレシートが終了します。

• **Top Search :** (頭出し機能の設定)

印刷前に行なう用紙の逆送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Disable	○	印刷前の用紙の逆送り動作を行ないません。
Enable		印刷前に用紙を逆送りして上余白を小さくします。

Point! TSP700II・TSP800II・FVP10 シリーズのみ対応

注記：「Page Cut Type」または「Document Cut Type」が「Full Cut」に設定されている場合のみ有効です。「Partial Cut」の設定では使用できません。

FVP10 をお使いの場合

注記： プリンターのカットモードを切り替える際には、ハードウェアマニュアルをご参照いただき「ディップスイッチ」と「カッター」の設定を正しく行ってください。

• **Top Margin :** (頭出し機能の設定)

印刷前に行なう用紙の逆送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Disable	○	印刷前の用紙の逆送り動作を行ないません。 デフォルト (11mm) の余白が適用されます。
2mm ~ 10mm		カット位置から印字開始位置までの余白を設定します。

Point! MCP31L, MCP31LB, MCP31C, MCP31CB のみ対応

トップマージン設定時の制限事項：

トップマージン設定が 10 mm 以下の場合は、印字用紙長さ (カット長) が 50mm を超えないようにしてください。

(カットした用紙が残っている場合は、用紙詰まりが発生する可能性があります。また、カットした用紙を取り除いた状態では印字用紙長さの制限はありません。)

■ Cut Options

• Page Cut Type：（ページカット動作の設定）

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut	○	カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut		カット位置まで用紙を送った後、中央を1点残しカットします。
Full Cut ※		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。
Cut ※		カット位置まで用紙を送った後、フルカットまたはパーシャルカット（中央を1点残しカット）をします。

※ モデルによっては対応していません。

• Document Cut Type：（文書カット動作の設定）

最後のページに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut		カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut	○	カット位置まで用紙を送った後、中央を1点残しカットします。
Full Cut ※		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。
Tear Bar		Tear Bar（カット位置）まで用紙を送ります。
Cut ※		カット位置まで用紙を送った後、フルカットまたはパーシャルカット（中央を1点残しカット）をします。

※ モデルによっては対応していません。

FVP10 をお使いの場合

注記： プリンターのカットモードを切り替える際には、ハードウェアマニュアルをご参照いただき「ディップスイッチ」と「カッター」の設定を正しく行ってください。

■ Data Treatment Recover From Error

• Data Treatment Recover From Error：（エラー復帰時のデータの扱い設定）

エラー発生時の、送信済みの印字データを処理する方法を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use		エラー復帰後に残りのデータを続けて印刷します。
Clear Data By Document Unit	○	エラー復帰後に残りのデータをクリアします。

Point! TSP650II・TSP700II・TSP800II・FVP10・mPOP・mC-Print3・mC-Print2 シリーズのみ対応

TSP700II をお使いの場合

注記：この機能は古い F/W（ファームウェア）では正常に動作しません。Ver3.0 未満の F/W をご使用の場合は、「No Use」を選択してください。

F/W のバージョンはプリンタを自己印字することでご確認いただけます。また、F/W のバージョンアップについては、ご購入先にお問い合わせください。

■ Cash Drawer Control

• Cash Drawer: (キャッシュドロワの動作設定)

キャッシュドロワの動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Do Not Open Drawers	○	キャッシュドロワを駆動しません。
Open Drawer 1		キャッシュドロワ 1 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 2		キャッシュドロワ 2 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 1 and 2		キャッシュドロワ 1 と 2 を印刷直後に駆動します。

• Cash Drawer 1 Pulse Width: (パルス幅の設定)

キャッシュドロワのパルス幅を設定します。

設定値	初期値	詳 細
10 milliseconds		パルス幅を 0.01 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

注記: キャッシュドロワ 2 は、パルス幅が 200 milliseconds で固定ですので変更できません。

■ Buzzer 1 Control および Buzzer 2 Control

• Buzzer 1 (Buzzer 2): (ブザー 1 (またはブザー 2) の動作設定)

ブザー 1 (またはブザー 2) の動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を駆動しません。
Document Top		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の先頭で動作を実行します。
Document Bottom		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の終端で動作を実行します。

注意: 外部機器駆動用コネクタにブザー、mC-Sound 以外の機器 (キャッシュドロワ等) を接続した場合には、'No Use' を選択してください。間違った設定を行った場合、外部機器本体が破壊する恐れがあります。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - On Time:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間)

ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間を設定します。

設定値	初期値	詳 細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Off Time:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間)

ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間を設定します。

設定値	初期値	詳 細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Repeat:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動回数)

ブザー 1 (またはブザー 2) を設定した鳴動時間・休止時間で繰り返して駆動する回数を設定します。
設定した鳴動回数に関わらず、“FEED” ボタンを押すことでブザーは止まります。

設定値	初期値	詳 細
1	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を 1 回鳴らします。
2		ブザー 1 (またはブザー 2) を 2 回鳴らします。
3		ブザー 1 (またはブザー 2) を 3 回鳴らします。
5		ブザー 1 (またはブザー 2) を 5 回鳴らします。
10		ブザー 1 (またはブザー 2) を 10 回鳴らします。
15		ブザー 1 (またはブザー 2) を 15 回鳴らします。
20		ブザー 1 (またはブザー 2) を 20 回鳴らします。

注記：ブザーの鳴動および休止時間がトータルして 90 秒を超えないようにしてください。

■ Sound < FVP10 シリーズのみ対応 >

1. Document Top Sound : (文書先頭での音声再生設定)

文書先頭に音声を再生させる場合に、再生させる音声データ番号を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Sound	○	文書先頭に音声を再生しません。
Sound1 ~ Sound20		文書先頭にプリンタに登録された音声データ "Sound n" を再生します。

2. Document Bottom Sound : (文書末尾での音声再生設定)

文書末尾に音声を再生させる場合に、再生させる音声データ番号を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Sound	○	文書末尾に音声を再生しません。
Sound1 ~ Sound20		文書末尾にプリンタに登録された音声データ "Sound n" を再生します。

■ mC-Sound Control < mC-Print3 シリーズのみ対応 >

• mC-Sound：（mC-Sound の動作設定）

mC-Sound の動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use	○	mC-Sound を駆動しません。
Document Top		mC-Sound は文書の先頭で動作を実行します。
Document Bottom		mC-Sound は文書の終端で動作を実行します。

注意：

- 1) 外部機器駆動用コネクタにブザー、mC-Sound 以外の機器（キャッシュドロワ等）を接続した場合には、'No Use' を選択してください。間違った設定を行った場合、外部機器本体が破壊する恐れがあります。
- 2) mC-Sound の DIP スイッチにより再生音源・音量を設定した場合でも、プリンタドライバから再生した場合は mC-Sound Control の 'Sound Storage Area'、'Sound Number'、'Volume' で設定した値が優先されます。

• mC-Sound - Sound Storage Area：（mC-Sound のサウンド格納領域）

mC-Sound のサウンド格納領域を選択します。サウンド格納領域とサウンド番号の組み合わせにより、音源の設定ができます。設定できる音源は設定音源リストの通りです。

設定値	初期値	詳 細
1	○	サウンド格納領域 1 に設定します。
2		サウンド格納領域 2 に設定します。

• mC-Sound - Sound Number：（mC-Sound のサウンド番号）

mC-Sound のサウンド番号を選択します。サウンド格納領域とサウンド番号の組み合わせにより、音源の設定ができます。設定できる音源は設定音源リストの通りです。

設定値	初期値	詳 細
0	○	サウンド番号 0 に設定します。
1		サウンド番号 1 に設定します。
2		サウンド番号 2 に設定します。
3		サウンド番号 3 に設定します。
4		サウンド番号 4 に設定します。
5		サウンド番号 5 に設定します。
6		サウンド番号 6 に設定します。
7		サウンド番号 7 に設定します。

■ 設定音源リスト

Sound Storage Area	Sound Number	設定音源
1	0	サウンド 1
1	1	サウンド 2
1	2	サウンド 3
1	3	サウンド 4
1	4	サウンド 5
1	5	サウンド 6
1	6	サウンド 7
1	7	サウンド 8

Sound Storage Area	Sound Number	設定音源
2	0	サウンド 9
2	1	サウンド 10
2	2	サウンド 11
2	3	サウンド 12
2	4	サウンド 13
2	5	サウンド 14
2	6	サウンド 15
2	7	サウンド 16

• **mC-Sound - Sound Volume :** (mC-Sound の音量)

mC-Sound の音量を選択します。

設定値	初期値	詳 細
0(Mute)		m C-Sound はミュートされます。
1		mC-Sound の音量を 1 に設定します。
2(Low)		mC-Sound の音量を 2 に設定します。
3		mC-Sound の音量を 3 に設定します。
4		mC-Sound の音量を 4 に設定します。
5		mC-Sound の音量を 5 に設定します。
6(Medium)	○	mC-Sound の音量を 6 に設定します。
7		mC-Sound の音量を 7 に設定します。
8		mC-Sound の音量を 8 に設定します。
9		mC-Sound の音量を 9 に設定します。
10		mC-Sound の音量を 10 に設定します。
11		mC-Sound の音量を 11 に設定します。
12(High)		mC-Sound の音量を 12 に設定します。
13		mC-Sound の音量を 13 に設定します。
14		mC-Sound の音量を 14 に設定します。
15		mC-Sound の音量を 15 に設定します。

• **mC-Sound - Repeat :** (mC-Sound の再生回数)

mC-Sound を繰り返して再生する回数を設定します。

設定値	初期値	詳 細
1	○	mC-Sound を 1 回再生します。
2		mC-Sound を 2 回再生します。
3		mC-Sound を 3 回再生します。
4		mC-Sound を 4 回再生します。
5		mC-Sound を 5 回再生します。
6		mC-Sound を 6 回再生します。
7		mC-Sound を 7 回再生します。
8		mC-Sound を 8 回再生します。
9		mC-Sound を 9 回再生します。
10		mC-Sound を 10 回再生します。

2.1.2 モバイルプリンター

■ Output Options

• Print Quality (Speed) : (印字品質の設定)

印字品質を設定します。印字品質の設定によって印字速度も変わります。

設定値	初期値	詳 細
Standard (High Speed)	○	通常の印字品質、印字速度で印字します。
High Quality (Low Speed)		印字速度よりも印字品質を優先します。

• Print Density : (印字濃度の設定)

印字濃度を設定します。

設定値	初期値	詳 細
High		印字が濃くなります。
Medium	○	通常の濃度で印字します。
Low		印字が薄くなります。
Special		ラベル紙など、発色の悪い用紙を使用する場合に設定します。

• Page Type : (ページタイプの設定)

ページタイプを設定します。

設定値	初期値	詳 細
Variable Length	○	可変長制御：ページ終端までの余白データは出力しません。 最後のデータが印刷された後にレシートが終了します。
Fixed Length		固定長制御：ページ終端までの余白データを余白として出力します。 用紙サイズで指定した長さの印字後にレシートが終了します。
Black Mark		ブラックマーク制御：ブラックマークまでを余白として出力します。 ブラックマークを検知してレシートが終了します。
Black Mark (FRONT, BACK, Gap/Hole, 2inch,3inch, Center)		ブラックマーク制御：ブラックマークまでを余白として出力します。 ブラックマークを検知してレシートが終了します。 FRONT : 表面にブラックマークがある用紙を使用する場合に設定します。 BACK : 裏面にブラックマークがある用紙を使用する場合に設定します。 Gap/Hole : ラベル紙を使用する場合に設定します。 2inch : 2インチのブラックマーク用紙を使用する場合に設定します。 3inch : 3インチのブラックマーク用紙を使用する場合に設定します。 Center : 中央にブラックマークがある用紙を使用する場合に設定します。
Label (Gap)		透過型センサーによって検知したラベル紙の先頭まで紙送りを行います。

■ Feed Options

- **Page Feed Type :** (ページ用紙送り動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Feed	○	用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar		Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

- **Document Feed Type :** (文書ページ送り動作の設定)

最後のページに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Feed		用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar	○	Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

■ Black Mark Detection

- **Black Mark Detection :** (電源投入時のブラックマーク位置検出の設定)

ブラックマーク用紙を使用する際に 'Enable' に設定することで、電源投入後の印刷時にブラックマーク位置を検出して紙送りを行います。

設定値	初期値	詳 細
Disable	○	電源投入後の印刷時にブラックマーク位置を検出しません。
Enable		電源投入後の印刷時にブラックマーク位置を検出します。

■ Data Treatment Recover From Error

- **Data Treatment Recover From Error :** (エラー復帰時のデータの扱い設定)

エラー発生時の、送信済みの印字データを処理する方法を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use		エラー復帰後に残りのデータを続けて印刷します。
Clear Data By Document Unit	○	エラー復帰後に残りのデータをクリアします。

2.1.3 ドットプリンター

■ Output Options

• **Bidirectional Printing** : (印刷方法の設定)

双方向印刷の設定をします。

双方向印刷を行うことで印字速度が速くなりますが、印字品質は単一方向印刷より劣ります。

設定値	初期値	詳 細
Bidirectional	○	双方向印刷を行います。
Unidirectional		単一方向印刷を行います。

• **Page Type** : (ページタイプの設定)

ページタイプを設定します。

設定値	初期値	詳 細
Variable Length	○	可変長制御：ページ終端までの余白データは出力しません。 最後のデータが印刷された後にレシートが終了します。
Fixed Length		固定長制御：ページ終端までの余白データを余白として出力します。 用紙サイズで指定した長さの印字後にレシートが終了します。

• **Resolution** : (解像度の設定)

印字解像度を設定します。

設定値	初期値	詳 細
170 × 72 DPI	○	幅：170 dpi、縦：72 dpi で印刷します。
85 × 72 DPI		幅：85 dpi、縦：72 dpi で印刷します。

■ Data Treatment Recover From Error

• **Data Treatment Recover From Error** : (エラー復帰時のデータの扱い設定)

エラー発生時の、送信済みの印字データを処理する方法を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use		エラー復帰後に残りのデータを続けて印刷します。
Clear Data By Document Unit	○	エラー復帰後に残りのデータをクリアします。

注記： この機能は古い F/W (ファームウェア) では正常に動作しません。Ver3.0 以前の F/W をご使用の場合は、'No Use' を選択してください。
F/W のバージョンはプリンタを自己印字することでご確認いただけます。また、F/W のバージョンアップについては、ご購入先にお問い合わせください。

■ Cut Options (Cutter モデル)

- **Page Cut Type:** (ページカット動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut	○	カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut		カット位置まで用紙を送った後、中央を 1 点残しカットします。

- **Document Cut Type:** (文書カット動作の設定)

最後のページに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut		カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut	○	カット位置まで用紙を送った後、中央を 1 点残しカットします。

■ Feed Options (TearBar モデル)

- **Page Feed Type:** (ページ用紙送り動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Feed	○	用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar		Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

- **Document Feed Type:** (文書ページ送り動作の設定)

最後のページに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Feed		用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar	○	Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

■ Cash Drawer Control

• Cash Drawer：（キャッシュドロワの動作設定）

キャッシュドロワの動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Do Not Open Drawers	○	キャッシュドロワを駆動しません。
Open Drawer 1		キャッシュドロワ 1 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 2		キャッシュドロワ 2 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 1 and 2		キャッシュドロワ 1 と 2 を印刷直後に駆動します。

• Cash Drawer 1 Pulse Width：（パルス幅の設定）

キャッシュドロワ 1 のパルス幅を設定します。

設定値	初期値	詳 細
10 milliseconds		パルス幅を 0.01 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

注記： 1) キャッシュドロワとブザーの設定は同時に有効にしないでください。
2) キャッシュドロワ 2 は、パルス幅が 200 milliseconds で固定です。

■ Buzzer 1 Control および Buzzer 2 Control

• Buzzer 1 (Buzzer 2)：（ブザー 1（またはブザー 2）の動作設定）

ブザー 1（またはブザー 2）の動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use	○	ブザー 1（またはブザー 2）を駆動しません。
Document Top		ブザー 1（またはブザー 2）は文書の先頭で動作を実行します。
Document Bottom		ブザー 1（またはブザー 2）は文書の終端で動作を実行します。

注意：外部機器駆動用コネクタにブザー以外の機器（キャッシュドロワ等）を接続した場合には、'No Use' を選択してください。間違った設定を行った場合、外部機器本体が破壊する恐れがあります。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - On Time:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間)

ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間を設定します。

設定値	初期値	詳 細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Off Time:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間)

ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間を設定します。

設定値	初期値	詳 細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Repeat:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動回数)

ブザー 1 (またはブザー 2) を設定した鳴動時間・休止時間で繰り返して駆動する回数を設定します。

設定した鳴動回数に関わらず、“FEED” ボタンを押すことでブザーは止まります。

設定値	初期値	詳 細
1	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を 1 回鳴らします。
2		ブザー 1 (またはブザー 2) を 2 回鳴らします。
3		ブザー 1 (またはブザー 2) を 3 回鳴らします。
5		ブザー 1 (またはブザー 2) を 5 回鳴らします。
10		ブザー 1 (またはブザー 2) を 10 回鳴らします。
15		ブザー 1 (またはブザー 2) を 15 回鳴らします。
20		ブザー 1 (またはブザー 2) を 20 回鳴らします。

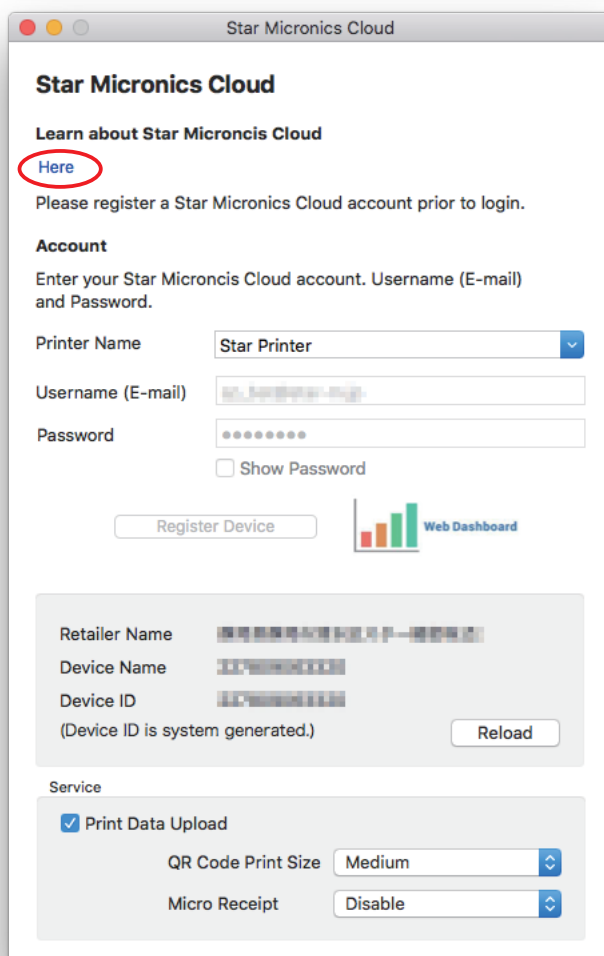
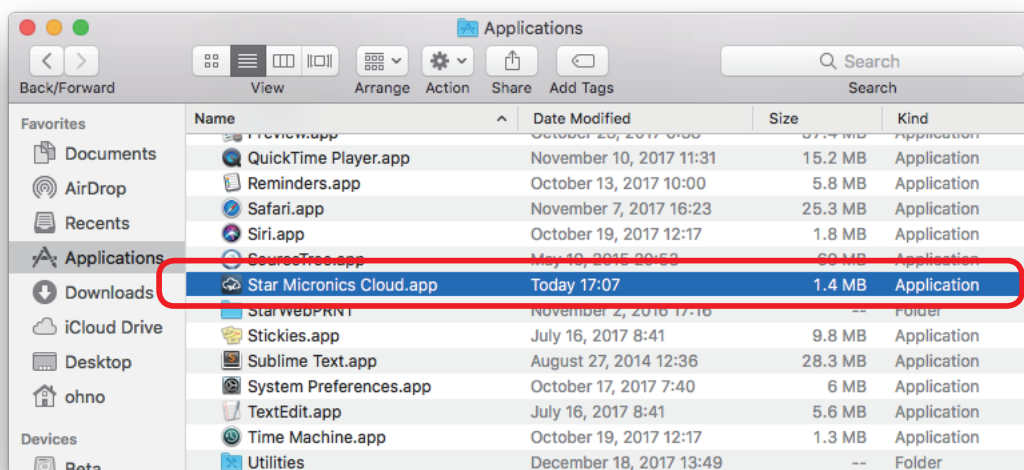
注記: 1) キャッシュドログとブザーの設定は同時に有効にしないでください。

2) ブザーの鳴動および休止時間がトータルして 90 秒を超えないようにしてください。

2.2 スター精密クラウドサービス

本ドライバのインストールにより、同時に Star Micronics Cloud アプリケーションがインストールされます。
[アプリケーション] より [Star Micronics Cloud.app] を起動してください。

memo スター精密クラウドサービスは、ドットプリンターに対応していません。



スター精密クラウドサービスをご利用いただくには、事前にスター精密クラウドサービスのアカウントの登録が必要です。

詳しくは「Here」より表示される Web ページの内容をご確認ください。

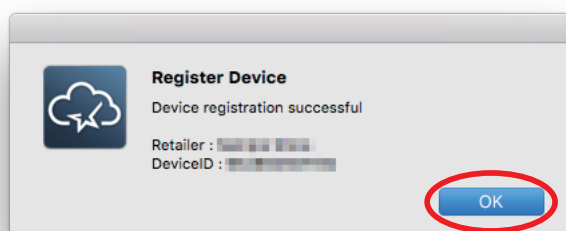
2.2.1 デバイス（プリンターキュー）の登録

あらかじめご登録いただいたスター精密クラウドサービスのアカウントでデバイス（スタープリンターのプリンターキュー）を登録します。

デバイスの登録をすると、スター精密クラウドサービスへの印刷データアップロードのサービスが利用可能となります。また、スター精密クラウドサービスのダッシュボードから、登録したデバイスの管理が可能となります。

1. 登録を行うデバイス（プリンターキュー）を選択します①。
2. あらかじめご登録いただいた、スター精密クラウドサービスアカウントのユーザー名 (E-mail) とパスワードを入力して②、[Register Device] をクリックします③。

3. デバイスの登録が成功すると、以下のダイアログが表示されますので [OK] をクリックします。



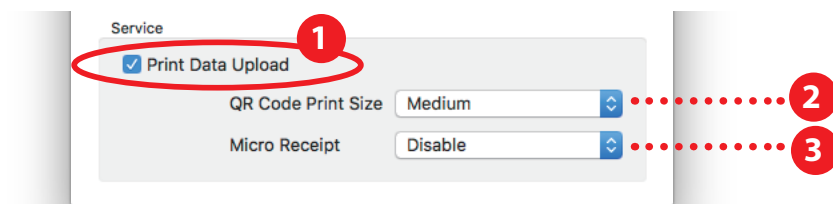
4. 接続したスター精密クラウドサービスのアカウント情報が表示されます。
「Web Dashboard」で表示される Web ページより、設定したアカウントでダッシュボードに接続し、デバイス名等を変更することができます④。Web ページで変更を行った場合は [Reload] をクリックすると表示しているデバイス情報を更新します⑤。

2.2.2 サービス利用の設定

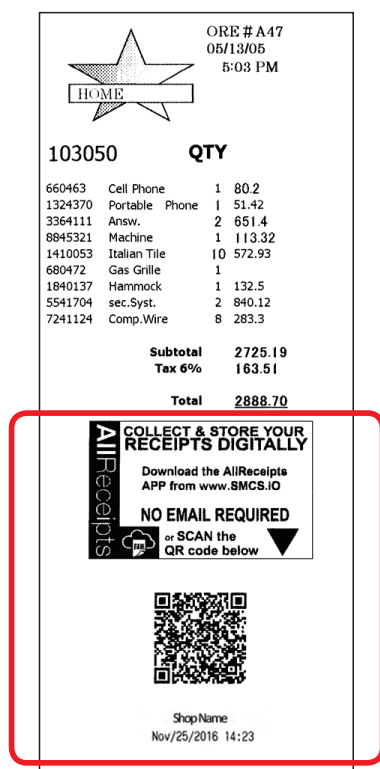
「Print Data Upload」にチェックすると、レシート印刷時に QR コードの付加を行い、同時に印刷したデータをスター精密クラウドサービスにアップロードします ①。

QR コードの印刷サイズは設定が可能です ②。

また、Micro Receipt 機能を使用して、スター精密クラウドサービスにアップロードされたレシートデータの印刷は行わずに、インフォメーションロゴ+ QR コード、または QR コードのみを印刷するように設定できます ③。



■ Disable



■ Information + QR Code



■ QR Code



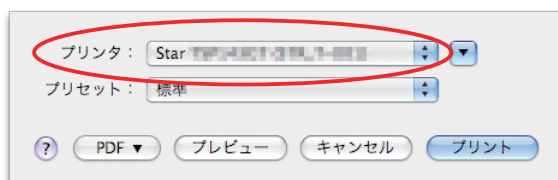
注記： スター精密クラウドサービスへのデータアップロードには、ネットワークに接続されていることが必要となります。ネットワーク接続の状況により、QR コードの付加印刷がされているのにスター精密クラウドサービスへデータがアップロードされていないことがあります。あらかじめご承知おきください。

3. 用紙サイズの設定

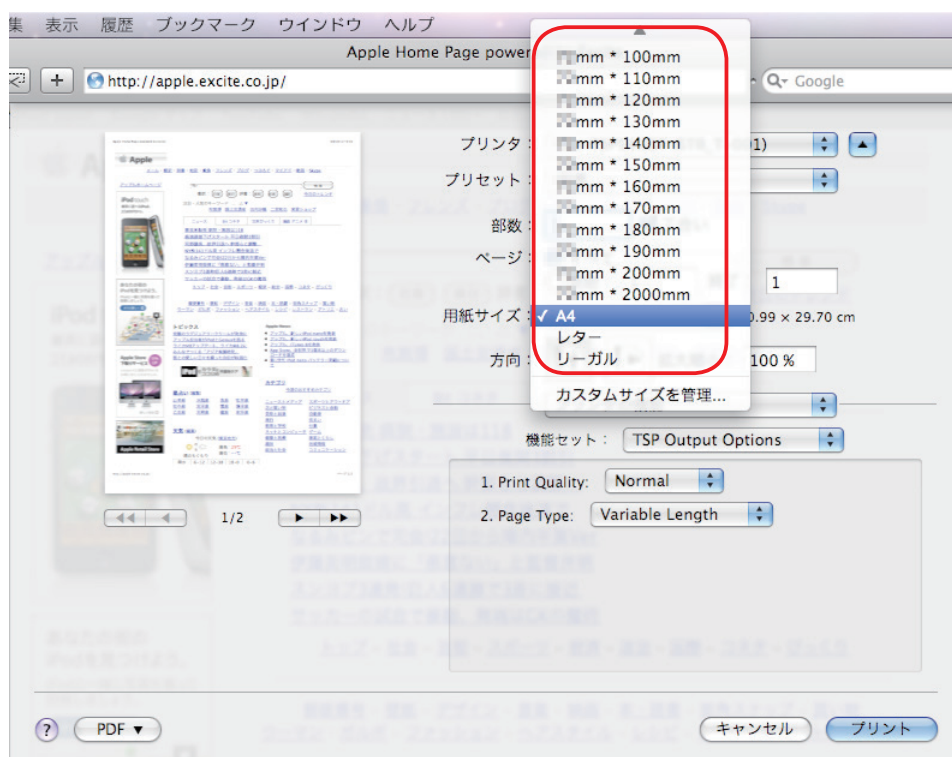
3.1 用紙サイズの設定

macOS のメニューバーから [ファイル]-[プリント] を開きます。

「プリンタ：」のプルダウンメニューから設定を行うプリンタ名を選択します。
詳細が表示されていない場合は、[▼] をクリックして詳細を表示します。



「用紙サイズ：」のプルダウンメニューから使用する用紙サイズを設定します。
使用可能な用紙サイズは「3.2 設定可能用紙サイズ」をご参照ください。



Point! 最大印字幅を超える用紙サイズを選択した場合は、最大印字幅に合わせて縮小し、印字します。

Bluetooth モデル 制限事項：

Bluetooth プリンターで印刷可能なページ長は 1500mm 以内となりますので、1500mm 以内の用紙サイズを設定してください。

3.2 設定可能用紙サイズ

以下の用紙サイズがあらかじめ用意されており、設定が可能です。

3.2.1 サーマルプリンター

用紙サイズ	対応機種				
	TSP100*	TSP650II	TSP700II	TSP800II	FVP10
50.8 * 30mm	○	○	○		○
50.8 * 40mm	○	○	○		○
⋮	⋮	⋮	⋮		⋮
50.8 * 190mm	○	○	○		○
50.8 * 200mm	○	○	○		○
50.8 * 1500mm		○	○		○
50.8 * 2000mm	○	○	○		○
52 * 30mm			○		○
52 * 40mm			○		○
⋮			⋮		⋮
52 * 190mm			○		○
52 * 200mm			○		○
52 * 1500mm			○		○
52 * 2000mm			○		○
52.5 * 30mm			○		○
52.5 * 40mm			○		○
⋮			⋮		⋮
52.5 * 190mm			○		○
52.5 * 200mm			○		○
52.5 * 1500mm			○		○
52.5 * 2000mm			○		○
72 * 30mm	○	○	○		○
72 * 40mm	○	○	○		○
⋮	⋮	⋮	⋮		⋮
72 * 190mm	○	○	○		○
72 * 200mm	○	○	○		○
72 * 1500mm		○	○		○
72 * 2000mm	○	○	○		○
80 * 30mm			○		
80 * 40mm			○		
⋮			⋮		
80 * 190mm			○		
80 * 200mm			○		
80 * 1500mm			○		
80 * 2000mm			○		
104 * 30mm				○	
104 * 40mm				○	
⋮				⋮	
104 * 190mm				○	
104 * 200mm				○	
104 * 1500mm				○	
104 * 2000mm				○	
A4	○	○	○	○	○
Letter	○	○	○	○	○
Legal	○	○	○	○	○

用紙サイズ	対応機種		
	mPOP	mC-Print3	mC-Print2
48 * 100mm	○	○	○
48 * 200mm	○	○	○
48 * 1500mm	○	○	○
50.8 * 100mm	○	○	○
50.8 * 200mm	○	○	○
50.8 * 1500mm	○	○	○
54 * 100mm	○		○
54 * 200mm	○		○
54 * 1500mm	○		○
72 * 100mm		○	
72 * 200mm		○	
72 * 1500mm		○	
A4	○	○	○
Letter	○	○	○
Legal	○	○	○

*TSP100 :

TSP100IIIW / LAN / BI / U, TSP100IIU, TSP100U, TSP100GT, TSP100LAN

3.2.2 モバイルプリンター

用紙サイズ	対応機種				
	SM-T300i	SM-T400i	SM-S210i	SM-L200	SM-L300
48 * 100mm			○	○	
48 * 200mm			○	○	
48 * 1500mm			○	○	
50.8 * 100mm					○
50.8 * 200mm					○
50.8 * 1500mm					○
72 * 100mm	○				○
72 * 200mm	○				○
72 * 1500mm	○				○
104 * 100mm		○			
104 * 200mm		○			
104 * 1500mm		○			
A4	○	○	○	○	○
Letter	○	○	○	○	○
Legal	○	○	○	○	○

3.2.3 ドットプリンター

用紙サイズ	SP700	用紙サイズ	SP700
45 * 30mm	○	60 * 30mm	○
45 * 40mm	○	60 * 40mm	○
⋮	⋮	⋮	⋮
45 * 190mm	○	60 * 190mm	○
45 * 200mm	○	60 * 200mm	○
45 * 1500mm	○	60 * 1500mm	○
45 * 2000mm	○	60 * 2000mm	○
48 * 30mm	○	63 * 30mm	○
48 * 40mm	○	63 * 40mm	○
⋮	⋮	⋮	⋮
48 * 190mm	○	63 * 190mm	○
48 * 200mm	○	63 * 200mm	○
48 * 1500mm	○	63 * 1500mm	○
48 * 2000mm	○	63 * 2000mm	○

4. イーサネット環境を使用する際のガイドライン

このドライバを使用して、LAN 対応のプリンタをご使用いただくには、あらかじめプリンタへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンタへの IP アドレスの設定を行ってください。

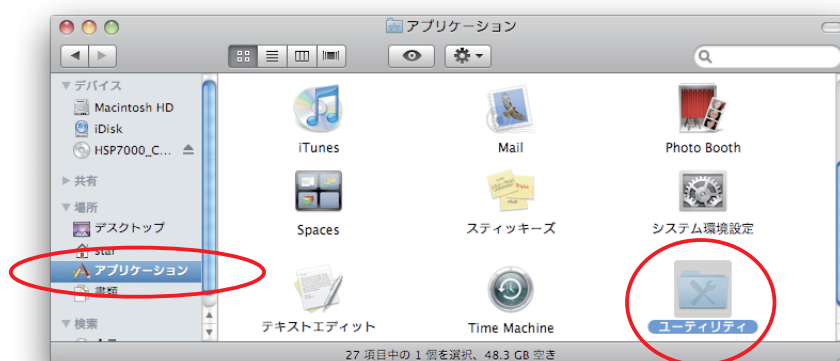
4.1 仮 IP アドレス設定

プリンタに対して、仮 IP アドレスを設定することができます。仮 IP アドレスを設定することにより、IP アドレスの設定されていないプリンタへの接続が行えるようになります。

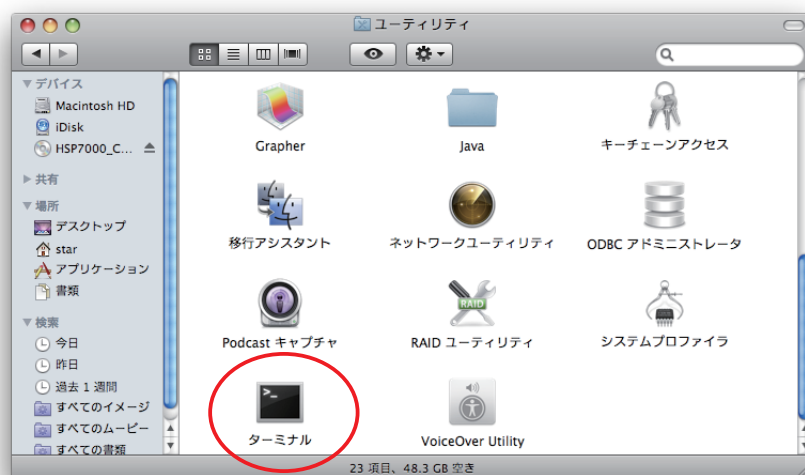
注記：プリンタの設定は管理者権限を持つユーザで行ってください。

Point! 仮 IP アドレスの設定には、設定を行うプリンタの MAC アドレスが必要です。MAC アドレスはプリンタを自己印字させることで確認することができます。自己印字に関して詳しくは別冊のハードウェアマニュアルをご参照ください。

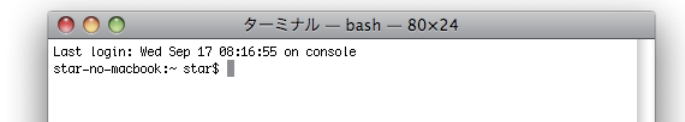
- ① プリンタにイーサネットケーブルを接続して、プリンタの電源を投入します。
- ② [アプリケーション]-[ユーティリティ]をクリックします。



- ③ [ターミナル]をクリックします。



④ ターミナルが起動します。



ターミナルで以下のコマンドを実行することにより、
プリンタの MAC アドレスに仮 IP アドレスを設定してください。

1. `sudo arp -d [プリンタ仮 IP アドレス]`
2. `sudo arp -s [プリンタ仮 IP アドレス] [プリンタ MAC アドレス]`
3. `ping -c 4 [プリンタ仮 IP アドレス]`
4. `sudo arp -d [プリンタ仮 IP アドレス]`

具体例：MAC アドレス <00:11:62:00:03:4D> のプリンタに
仮 IP アドレス <192.168.222.217> を設定する場合

```
sudo arp -d 192.168.222.217
sudo arp -s 192.168.222.217 00:11:62:00:03:4D
ping -c 4 192.168.222.217
sudo arp -d 192.168.222.217
```

注記：ここで設定を行う “ 仮 IP アドレス ” は、プリンタの電源を切るとクリアされます。
ひきつづき IP アドレスの設定作業を行ってください。(4.2 ② から)

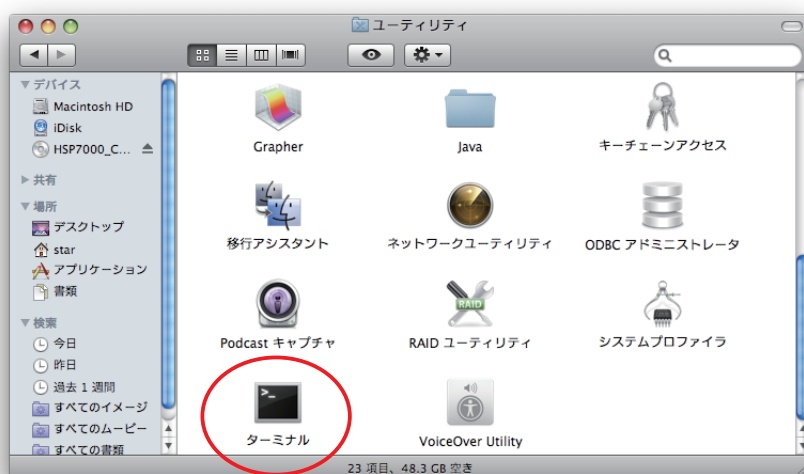
4.2 IP アドレス設定 << StarPrinter TELNET Utility >>

Telnet コマンドにより、直接プリンタに接続して設定を行います。

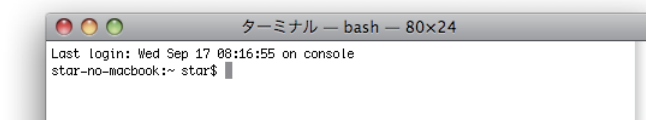
- ① プリンタにイーサネットケーブルを接続して、プリンタの電源を投入します。
- ② 「Finder」を起動して、[アプリケーション]-[ユーティリティ]をクリックします。



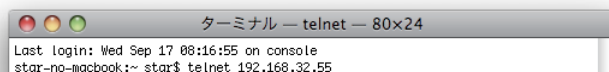
- ③ [ターミナル]をクリックします。



- ④ ターミナルが起動します。



- ⑤ Telnet コマンドにより、設定を行うプリンタに接続します。



例： > telnet 192.168.222.217

↓
設定を行うプリンタの IP アドレス（または仮 IP アドレス）

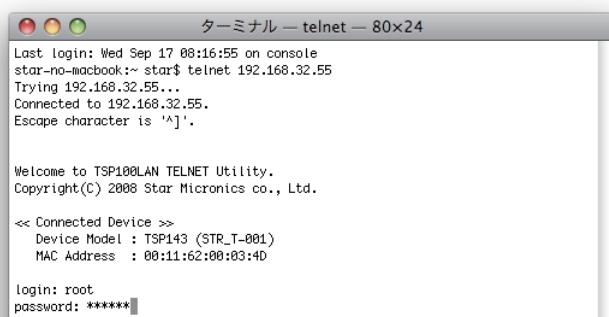
注記：IP アドレスが設定されていないプリンタには、接続が行えません。

「4.1 仮 IP アドレス設定」をご参照の上、あらかじめ仮 IP アドレスの設定を行ってください。

- ⑥ 設定を行うプリンタに "root" ユーザでログインします。

工場出荷時のパスワードは "public" です。

パスワードの変更を行った場合には、変更したパスワードを入力してください。

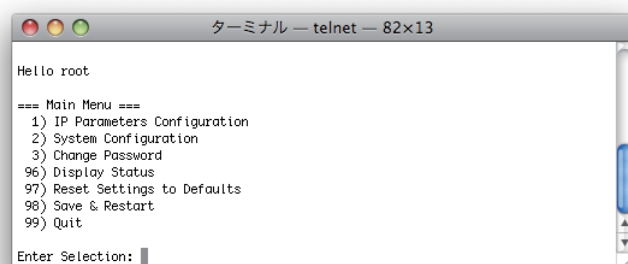


- ⑦ 表示されるのは以下のメニューです。

- 1) IP Parameters Configuration
- 2) System Configuration
- 3) Change Password
- 96) Display Status
- 97) Reset Settings to Defaults
- 98) Save & Restart
- 99) Quit

Enter Selection:

処理したい内容に合わせて番号を入力します。



- ⑧ すべての設定が終わったら "98(Save & Restart)" - "1(Save & Restart device & Configuration printing)" または "2(Save & Restart device)" で、設定内容の保存を行ってください。プリンタに設定内容を保存した後、プリンタのリセットがかかります。

具体例： 仮 IP アドレス <192.168.222.217> の設定されたプリンタに
固定 IP アドレス <192.168.222.55> を設定し、設定内容を印字して確認する場合

```
>telnet 192.168.222.217
login : root
password : ***** (変更していない場合 "public")
Enter Selection : 1 ( IP Parameters Configuration )
Enter selection : 1 ( Static )
Enter Selection : 1 ( IP Address )
Enter IP address (x.x.x.x) : 192.168.222.55
Enter Selection : 99 ( Back to IP Address Menu )
Enter Selection : 99 ( Back to Main Menu )
Enter Selection : 98 (Save & Restart )
Enter Selection : 1 (Save & Configuration printing & Restart device )
```

※ 実際の入力箇所を太字にて示しています。

5. lpr コマンドで使用する際のガイドライン

コマンドラインより lpr コマンドにて印刷を行う際には、以下のフォーマットにてオプションを指定することができます。

```
$ lpr -o [option]=[value] -o [option]=[value] ... [Filename]
```

[option]・[value] には、「5.1 機能対応一覧」より " コマンド指定名称 " に示した名称にて指定します。
また、指定がないオプションについては、ドライバのデフォルト設定にて印刷を行います。

Point! オプション "-P" にてプリンタ名を指定する場合は、"lpstat -p" コマンドにて確認したプリンタ名を指定してください。

【使用例 1】

プリンタ名： Star_MCP31__STR_001_
印刷ファイル： sample1.txt
用紙サイズ※： 50.8 * 200mm
余白（上）※： 0mm
余白（下）※： 0mm
余白（左）※： 0mm
余白（右）※： 0mm

※このオプションは、プリンタドライバオプションではなく、OS 標準のオプションです。

```
$ lpr -P Star_MCP31__STR_001_ -o media="X50D8MMY200MM"  
-o page-top=0 -o page-bottom=0 -o page-left=0  
-o page-right=0 sample1.txt
```

【使用例 2】

印刷ファイル： sample2.txt
Print Speed： Low

```
$ lpr -o PrintSpeed=2Low sample2.txt
```

【使用例 3】

印刷ファイル： sample3.txt
Document Cut Type： No Cut

```
$ lpr -o DocCutType=0NoCutDoc sample3.txt
```

5.1 機能対応一覧

各機能の内容については「2.1 機能一覧」をご参照ください。

5.1.1 サーマルプリンター

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種									
	option	value	[option]	[value]	TSP 143 *	TSP 654II	TSP 743II	TSP 847II	FVP 10	POP 10	MCP 30	MCP 31L/ 31LB/ 31C/ 31CB	MCP 20/20B/ 21LB	
Output Option	Print Speed	High	PrintSpeed	0High	●	●	●	●	●	●	●	●		
		Middle		1Middle	○	○	○	○	○		○	○		
		Low		2Low	○	○	○	○	○	○	○	○		
	Print Density	-3	PrintDensity	0Minus3		○			○		○	○		
		-2		1Minus2		○		○		○	○			
		-1		2Minus1		○		○		○	○			
		Standard		3ZERO		●		●	●	●	●	●		
		+1		4Plus1		○		○	○	○	○	○		
		+2		5Plus2		○		○	○	○	○	○		
		+3		6Plus3		○		○	○	○	○	○		
		+4		7Plus4							○	○		
		Page Type		Variable Length	PageType	0Variable	●	●	●	●	●	●	●	●
	Fixed Length		1Fixed	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	Top Search	Disable	TopSearch	0Disable			●	●	●					
		Enable		1Enable			○	○	○					
	Top Margin	Disable	TopMargin	0Disable									●	
		2mm		1Millimeter2								○		
		3mm		2Millimeter3								○		
		4mm		3Millimeter4								○		
		5mm		4Millimeter5								○		
		6mm		5Millimeter6								○		
		7mm		6Millimeter7								○		
		8mm		7Millimeter8								○		
		9mm		8Millimeter9								○		
		10mm		9Millimeter10								○		
Cut Options (Cutter)	Page Cut Type	No Cut	PageCutType	0NoCutPage	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		Partial Cut		1PartialCutPage	○	○	○	○		○	○	○	○	
		Full Cut		2FullCutPage			○	○		○			○	
		Cut		1CutPage					○					
	Document Cut Type	No Cut	DocCutType	0NoCutDoc	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		Partial Cut		1PartialCutDoc	●	●	●	●		●	●	●	●	
		Full Cut		2FullCutDoc			○	○		○			○	
		Tear Bar		3TearBarDoc				○						
		Cut		1CutDoc					●					
Data Treatment Recover From Error	Data Treatment Recover From Error	No Use	DataTreatment RecoverFrom Error	0NoUse		○	○	○	○	○	○	○	○	
		Clear Data By Document Unit		1ClearDataBy Document Unit		●	●	●	●	●	●	●	●	

*TSP143 : TSP143IIW / LAN / BI / U, TSP100IU, TSP143U, TSP143GT, TSP143LAN

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種								
	option	value	[option]	[value]	TSP 143 *	TSP 654II	TSP 743II	TSP 847II	FVP 10	POP 10	MCP 30	MCP 31L/ 31LB/ 31C/ 31CB	MCP 20/20B/ 21LB
Cash Drawer Control	Cash Drawer	Do Not Open Drawers	CashDrawer Setting	0DoNotOpenDrawers	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		Open Drawer 1		1OpenDrawer1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		Open Drawer 2		2OpenDrawer2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		Open Drawer 1 and 2		3OpenDrawer3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Cash Drawer 1 Pulsh Width	10 milliseconds	CashDrawer1 PulseWidth	0Millis10	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		100 milliseconds		1Millis100	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		200 milliseconds		2Millis200	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		300 milliseconds		3Millis300	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		400 milliseconds		4Millis400	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		500 milliseconds		5Millis500	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		600 milliseconds		6Millis600	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		700 milliseconds		7Millis700	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		800 milliseconds		8Millis800	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		900 milliseconds		9Millis900	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1000 milliseconds		10Millis1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1100 milliseconds		11Millis1100	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1200 milliseconds		12Millis1200	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Buzzer1 Control / Buzzer2 Control	Buzzer1 / Buzzer2	No Use	Buzzer1Setting /	0NoUse		●	●		●		●	●	●
		Document Top	Buzzer2Setting	1DocumentTop		○	○		○		○	○	○
		Document Bottom		2DocumentBtm		○	○		○		○	○	○
	Buzzer1- On Time / Buzzer2 - On Time	20 milliseconds	Buzzer1OnTime / Buzzer2OnTime	0Millis20		●	●		●		●	●	●
		40 milliseconds		1Millis40		○	○		○		○	○	○
		100 milliseconds		2Millis100		○	○		○		○	○	○
		200 milliseconds		3Millis200		○	○		○		○	○	○
		500 milliseconds		4Millis500		○	○		○		○	○	○
		1000 milliseconds		5Millis1000		○	○		○		○	○	○
		2000 milliseconds		6Millis2000		○	○		○		○	○	○
		5000 milliseconds		7Millis5000		○	○		○		○	○	○
	Buzzer1 - Off Time / Buzzer2 - Off Time	20 milliseconds	Buzzer1OffTime / Buzzer2OffTime	0Millis20		●	●		●		●	●	●
		40 milliseconds		1Millis40		○	○		○		○	○	○
		100 milliseconds		2Millis100		○	○		○		○	○	○
		200 milliseconds		3Millis200		○	○		○		○	○	○
		500 milliseconds		4Millis500		○	○		○		○	○	○
		1000 milliseconds		5Millis1000		○	○		○		○	○	○
		2000 milliseconds		6Millis2000		○	○		○		○	○	○
		5000 milliseconds		7Millis5000		○	○		○		○	○	○
	Buzzer1- Repeat / Buzzer2 - Repeat	1	Buzzer1Repeat / Buzzer2Repeat	0Repeat1		●	●		●		●	●	●
		2		1Repeat2		○	○		○		○	○	○
		3		2Repeat3		○	○		○		○	○	○
		5		3Repeat5		○	○		○		○	○	○
		10		4Repeat10		○	○		○		○	○	○
		15		5Repeat15		○	○		○		○	○	○
		20		6Repeat20		○	○		○		○	○	○

※ ● はデフォルト設定値です。

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種								
	option	value	[option]	[value]	TSP 143 *	TSP 654II	TSP 743II	TSP 847II	FVP 10	POP 10	MCP 30	MCP 31L/ 31LB/ 31C/ 31CB	MCP 20/20B/ 21LB
Sound	Document Top Sound	No Sound	DocumentTopSound	0NoSound					●				
		Sound1		1Sound					○				
		Sound2		2Sound					○				
		•		•					•				
		•		•					•				
		•		•					•				
		Sound19		19Sound					○				
		Sound20		20Sound					○				
	Document Bottom Sound	No Sound	DocumentBottomSound	0NoSound					●				
		Sound1		1Sound					○				
		Sound2		2Sound					○				
		•		•					•				
		•		•					•				
		•		•					•				
		Sound19		19Sound					○				
		Sound20		20Sound					○				

※ ● はデフォルト設定値です。

機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種										
				TSP 143 *	TSP 654II	TSP 743II	TSP 847II	FVP 10	POP 10	MCP 30	MCP 31L/ 31LB/ 31C/ 31CB	MCP 20/20B/ 21LB		
option		value	[option]	[value]										
mC-Sound Control	mC-Sound	No Use	MelodySpeaker Setting	0NoUse								●	●	
		Document Top		1DocumentTop							○	○		
		Document Bottom		2DocumentBtm							○	○		
	mC-Sound Sound Storage Area	1	MelodySpeaker SoundStorageArea	0Area1								●	●	
		2		1Area2							○	○		
	mC-Sound Sound Number	0	MelodySpeaker SoundNumber	0Number0								●	●	
		1		1Number1							○	○		
		2		2Number2							○	○		
		3		3Number3							○	○		
		4		4Number4							○	○		
		5		5Number5							○	○		
		6		6Number6							○	○		
		7		7Number7							○	○		
	mC-Sound Sound Volume	0(Mute)	MelodySpeaker SoundVolume	0Volume0								○	○	
		1		1Volume1							○	○		
		2(Low)		2Volume2							○	○		
		3		3Volume3							○	○		
		4		4Volume4							○	○		
		5		5Volume5							○	○		
		6(Medium)		6Volume6							●	●		
		7		7Volume7							○	○		
		8		8Volume8							○	○		
		9		9Volume9							○	○		
		10		10Volume10							○	○		
		11		11Volume11							○	○		
		12(High)		12Volume12							○	○		
		13		13Volume13							○	○		
		14		14Volume14							○	○		
		15		15Volume15							○	○		
	mC-Sound Repeat	1	MelodySpeaker Repeat	0Repeat1								●	●	
		2		1Repeat2							○	○		
		3		2Repeat3							○	○		
		4		3Repeat4							○	○		
		5		4Repeat5							○	○		
		6		5Repeat6							○	○		
		7		6Repeat7							○	○		
		8		7Repeat8							○	○		
		9		8Repeat9							○	○		
		10		9Repeat10							○	○		

※ ● はデフォルト設定値です。

5.1.2 モバイルプリンター

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		デフォルト 設定値
	option	value	[option]	[value]	
Output Options	Print Quality(Speed)	Standard(High Speed)	PrintSpeed	0High	○
		High Quality(Low Speed)		1Low	
	Print Density	Special	PrintDensity	0Special	○
		High		1High	
		Medium		2Medium	
		Low		3Low	
	Page Type	Variable Length	PageType	0Variable	○
		Fixed Length		1Fixed	
		Black Mark		2BlackMark	
		Black Mark(FRONT)		3FrontBlackMark	
		Black Mark(BACK)		4BackBlackMark	
		Black Mark(Gap/Hole)		5GapHoleBlackMark	
		Black Mark(3inch)		6BlackMarkThreeInch	
		Black Mark(2inch)		7BlackMarkTwoInch	
		Black Mark(Center)		8BlackMarkCenter	
		Label(Gap)		9Label	
Feed Options	Page Feed Type	No Feed	PageCutType	0NoCutPage	○
		Tear Bar		1TearBarPage	
	Document Feed Type	No Feed	DocCutType	0NoCutDoc	○
		Tear Bar		1TearBarDoc	
Data Treatment Recover From Error	Data Treatment Recover From Error	No Use	DataTreatmentRecoverFromError	0NoUse	○
		Clear Data By Document Unit		1ClearDataByDocument Unit	
Black Mark Detection	Black Mark Detection	Disable	BlackMarkDetection	1Disable	○
		Enable		2Enable	

5.1.3 ドットプリンター

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種	
	option	value	[option]	[value]	SP717	SP747
Output Option	Bidirectional Printing	Bidirectional	BidiPrinting	0Bidirectional	●	●
		Unidirectional		1Unidirectional	○	○
	Page Type	Variable Length	PageType	0Variable	●	●
		Fixed Length		1Fixed	○	○
	Resolution	170 x 72 DPI	Resolution	170x72dpi	●	●
		85 x 72 DPI		85x72dpi	○	○
Cut Options (Cutter)	Page Cut Type	No Cut	PageCutType	0NoCutPage		●
		Partial Cut		1PartialCutPage		○
		Full Cut		2FullCutPage		
	Document Cut Type	No Cut	DocCutType	0NoCutDoc		○
		Partial Cut		1PartialCutDoc		●
		Full Cut		2FullCutDoc		
Feed Options (TearBar)	Page Feed Type	No Feed	PageCutType	0NoCutPage	●	
		Tear Bar		3TearBarPage	○	
	Document Feed Type	No Feed	DocCutType	0NoCutDoc	○	
		Tear Bar		3TearBarDoc	●	
Cash Drawer Control	Cash Drawer	Do Not Open Drawers	CashDrawerSetting	0DoNotOpenDrawers	●	●
		Open Drawer 1		1OpenDrawer1	○	○
		Open Drawer 2		2OpenDrawer2	○	○
		Open Drawer 1 and 2		3OpenDrawer3	○	○
	Cash Drawer 1 Pulsh Width	10 milliseconds	CashDrawer1PulseWidth	0Millis10	○	○
		100 milliseconds		1Millis100	○	○
		200 milliseconds		2Millis200	●	●
		300 milliseconds		3Millis300	○	○
		400 milliseconds		4Millis400	○	○
		500 milliseconds		5Millis500	○	○
		600 milliseconds		6Millis600	○	○
		700 milliseconds		7Millis700	○	○
		800 milliseconds		8Millis800	○	○
		900 milliseconds		9Millis900	○	○
		1000 milliseconds		10Millis1000	○	○
		1100 milliseconds		11Millis1100	○	○
		1200 milliseconds		12Millis1200	○	○
Data Treatment Recover From Error	Data Treatment Recover From Error	No Use	DataTreatmentRecoverFromError	0NoUse	○	○
		Clear Data By Document Unit		1ClearDataBy Document Unit	●	●

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種	
	option	value	[option]	[value]	SP717	SP747
Buzzer1 Control / Buzzer2 Control	Buzzer1 /	No Use	Buzzer1Setting /	0NoUse	●	●
	Buzzer2	Document Top	Buzzer2Setting	1DocumentTop	○	○
		Document Bottom		2DocumentBtm	○	○
	Buzzer1 - On Time /	20 milliseconds	Buzzer1OnTime /	0Millis20	●	●
	Buzzer2 - On Time	40 milliseconds	Buzzer2OnTime	1Millis40	○	○
		100 milliseconds		2Millis100	○	○
		200 milliseconds		3Millis200	○	○
		500 milliseconds		4Millis500	○	○
		1000 milliseconds		5Millis1000	○	○
		2000 milliseconds		6Millis2000	○	○
		5000 milliseconds		7Millis5000	○	○
	Buzzer1 - Off Time /	20 milliseconds	Buzzer1OffTime /	0Millis20	●	●
	Buzzer2 - Off Time	40 milliseconds	Buzzer2OffTime	1Millis40	○	○
		100 milliseconds		2Millis100	○	○
		200 milliseconds		3Millis200	○	○
		500 milliseconds		4Millis500	○	○
		1000 milliseconds		5Millis1000	○	○
		2000 milliseconds		6Millis2000	○	○
		5000 milliseconds		7Millis5000	○	○
	Buzzer1 - Repeat /	1	Buzzer1Repeat /	0Repeat1	●	●
	Buzzer2 - Repeat	2	Buzzer2Repeat	1Repeat2	○	○
		3		2Repeat3	○	○
		5		3Repeat5	○	○
		10		4Repeat10	○	○
		15		5Repeat15	○	○
		20		6Repeat20	○	○

※ ● はデフォルト設定値です。

6. 動作確認環境

macOS 10.15, macOS 10.14, macOS 10.13, macOS 10.12, Mac OS X 10.11

- iMac (Mid 2017)
- Mac mini (Late 2014)

7. 改訂履歴

Rev. No.	改訂年月	内容
Rev. 1.0	Jan. 2009	新規発行
Rev. 2.0	Jun. 2009	誤記修正
Rev. 3.0	Mar. 2010	TSP800II 対応
Rev. 4.0	Sep. 2010	star cups driver 3.2.0 対応 Data Treatment Recover From Error・Buzzer コマンドの対応機種追加
Rev. 5.0	Feb. 2013	TSP654II 対応 Mac OS X 7,8 対応
Rev. 5.1	May 2013	誤記修正
Rev. 6.0	Jan. 2015	Bluetooth 対応
Rev. 6.1	Jun. 2016	Mac OS X 10.11 対応 TSP100IIIW / LAN / BI 対応
Rev. 6.2	Sep. 2016	スター精密クラウドサービス対応 macOS 10.12 対応 Mac OS X 10.5, 10.6, 10.7, 10.8 サポート終了
Rev. 6.3	Mar. 2017	TSP100IIIU, mPOP 対応
Rev. 6.4	May 2017	スター精密クラウドサービス マイクロシート機能対応
Rev. 6.5	Jun. 2018	macOS 10.13 対応 mC-Print3, mC-Print2 対応
Rev. 6.6	Nov. 2018	macOS 10.14 対応 mC-Sound 対応
Rev. 6.7	Jul. 2019	MCP30 対応 (mC-Print3 シリーズ)
Rev. 7.0	Nov. 2019	macOS 10.15 対応、Mac OS X 10.10 サポート終了 マニュアル統合 (サーマルプリンターに FVP10・モバイルプリンター・ドットプリンターを統合)
Rev. 7.1	May 2020	MCP31C, MCP31CB 対応追加 (mC-Print3 シリーズ)



URL: <http://www.star-m.jp>